

Vol.051

尚和会会報 2003

平成15年5月1日



同窓の輪を拓げる いま、ふたたび



尚和会総会のごあんない

平成15年5月18日(日)

ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎ 06-6849-1111)

- 総会 オーキッドホール 12:00~12:30
- 立食パーティー オーキッドホール 12:45~15:00
- アトラクション ヴァイオリン演奏 幸田 聰子(高40期)

お楽しみ福引き



高校40期卒業・豊中市堺池出身

1993年、東京藝術大学を卒業。3才からヴァイオリンを始め、81年全日本学生コンクール小学校の部で西日本第1位入賞。84年、ポーランドのヴィニアウスキー・ジュニア・ヴァイオリン・コンクールで、テレマン特別賞を受賞。89年日本モーツアルト・コンクール入選。96年東京、大阪、京都でのリサイタルが、高く評価されて、青山音楽賞を受賞する。

幸田聰子さん

- 会費 4,000円 (99年以降の卒業者 2,000円)

発行 尚和会 ・ 発行責任者 田中 渡 ・ 編集責任者 大畠 光昭

平成15年5月1日



尚和会の活性化を 求めて

尚和会会長

田中渡



桜塚高校の近況

桜塚高校校長
長瀬尚

新緑の輝く候を迎えて、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。尚和会の活性化を求めて、今年度から会報を卒業五年毎に無料配布を行うことになります。五年前に財政の健全化を願い、会報有料制をとりいれ皆様のご協力のもと安定した収支決算をご報告できるようになりました。しかしながら一方では、幅広く会員の皆様に情報の伝達がいきわらないとの声も多くあり、周年事業の一環として卒業後各期五年毎に尚和会会報を郵送するこ

とにしました。尚和会として母校の発展に寄与するとともに、若い世代の会員諸氏から前向きな意見と活力を得て、会員相互の情報を交換することにより尚和会の新たな展開を期待します。

尚和会会員の皆様には日頃何かとお力添えいただいていることに、心よりお礼申し上げます。

尚和会会員の皆様には日々活動、生徒自治会活動などの自主的活動を両立させた密度の濃い高校生活を通じて「知力」「体力」「人間性」共バランスの取れた人格を陶冶する校風」を受け継ぎ、充実した日々を送られた伝統である、「勉強

っています。

全日制課程ではここ数年

国公立大学や難関私学への合格者が増加しており、学習面でのがんばりがよく反映されています。部活動で

も陸上競技部と卓球部が近畿大会に出場し、野球部が春季大会で府下ベスト四に進出するなど運動系文化系

を問わず素晴らしい実績をあげています。

また、クラブ活動費助成金制度もとりいれ、在校生諸君の課外活動で顕著な成績をおさめた折には、その活動費の一部を補填することにしました。

昨年度は本校としては初めての海外修学旅行が実施され、十二月十一日～十五日の日程で五六期生がシンガポールを訪れました。私も引率に加わりましたが担任団の努力で充実したプログラムが用意され、大変好評でした。特に、現地でどこの生徒も例外なく、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしていたことには感心しました。スマートにコミュニケーションができた生徒もそうでなかつた生徒も、近い将来国際的な舞台で活躍するうえでのよい経験になつたことと思います。また、行く先々でガイヤードさんやスチュワーデスさんに「こんなにマナーがよくなづいた」と思われることを、我々教員はしつかり認識する必要があります。

ました。

定時制課程でも文化祭、部活動、沖縄修学旅行など

生徒たちはそれぞれに学校生活を楽しんでいます。昨

年度は学校協議会を二回開催し、本校教育の課題や今後のあり方について、有意義な提言をいただきました。会員の皆様の定時制教育への思いの深さには頭が下がります。

本校や大阪府だけの問題ではないとはいえ、戦後六〇年になろうとし、社会構造や産業構造の激変により定時制高校の役割が、本来の勤労青少年への教育保障という姿から大きく変質していることに、必ずしも十分には対応しきれていないことを申し訳なく思っています。

二十一世紀を迎えたといふものの明るさは未だ見えず、特に経済情勢はむしろ厳しさが増しているようですが、生徒たちに『逞しく生きる力』がますます求められます。生徒たちは『我々教員はしつかり認識する必要があります。

尚和会の皆様には、いつもお世話になります。誠にありがとうございます。

平成十五年度の入試から、定時制課程の入試日が、

全日制の入試と同日になりました。定時制を第一に希望する人が入学できるよう

に配慮されています。学校教育審議会答申によりますと、「府内公立中学校の三年生に対する進路希望調査(平成十一年十二月実施)によると、定時制の課程を希望する生徒は、全体の四〇・八%であるが、実際に入学している生徒は二・四%となっている。これは、定時制の課程の入学者選抜が全日制の課程の合否が判断した後に実施されていることから、全日制の課程に入学できずに、やむを得ず定時制の課程に入学していいることが主な原因と考えられる」と分析しています。

また、今後の夜間定時制の課程のあり方にについて、「昼間働きながら高等学校に入学を希望する生徒のほ

うども、新しく中学校を卒業しても就職できない社会が

なり方も、大きく変わってきました。新しく中学校を卒業しても企業が採用を控えます。

定時制改革は今年の夏から本格化します。定時制は、

社会における産業構造の変化の影響を受け、学校のあり方も、大きく変わってきました。

新しく中学校を卒業しても就職できない社会ができあがり、さらに高校についても企業が採用を控えます。

定時制高校が、勤労青少年

年に對して重要な役割を果たした時期から、学校の役割も随分と変わりました。

一方、新たな社会の変化に対応するため、生涯にわたり、

学習を続けることが求めら

れます。定時制課程が、

変化する社会状況の中で、ど

うように位置付けられ、社会の要請に応え、どのような役割を担っていくのか。これか

らの改革にご注目ください。

桜塚高校定時制では、保

護者の方に学校の様子を知

つていただく機会を作つて

定時制の改革

桜塚高校定時制教頭
森尾俊三

尚和会の皆様には、いつもお世話になります。誠にありがとうございます。

平成十五年度の入試から、定時制課程の入試日が、全日制の入試と同日になりました。定時制を第一に希望する人が入学できるよう配慮されています。学校教育審議会答申によりますと、「府内公立中学校の三年生に対する進路希望調査(平成十一年十二月実施)によると、定時制の課程を希望する生徒は、全体の四〇・八%であるが、実際に入学している生徒は二・四%となっている。これは、定時制の課程の入学者選抜が判断した後に実施されていることから、全日制の課程に入学できずに、やむを得ず定時制の課程に入学していっていることが主な原因と考えられる」と分析しています。

また、今後の夜間定時制の課程のあり方にについて、「昼間働きながら高等学校に入学を希望する生徒のほうも、新しく中学校を卒業しても企業が採用を控えます。

定時制改革は今年の夏から本格化します。定時制は、社会における産業構造の変化の影響を受け、学校のあり方も、大きく変わってきました。新しく中学校を卒業しても就職できない社会ができあがり、さらに高校についても企業が採用を控えます。

定時制高校が、勤労青少年年に對して重要な役割を果たした時期から、学校の役割も随分と変わりました。

一方、新たな社会の変化に対応するため、生涯にわたり、学習を続けることが求められます。定時制課程が、変化する社会状況の中で、どうに位置付けられ、社会の要請に応え、どのような役割を担っていくのか。これら

平成十四年度から、六月と十一月に、保護者懇談日を含め、一週間の授業公開を行っています。また、文化祭は、例年十月中旬に開催しています。学校教育の様子を知つていただくことができます。

二月には、生徒・保護者人権教育講演会を開催。豊中市立障害者福祉施設ひまわり障害者相談員の岩崎剛氏（ソウルパラリンピック・スラローム銅メダリスト）の感動的な講演で、車椅子バスケット実技体験など、有意義な学習ができました。クラブ活動では、バドミントン部四年生の今中徳一君

が大阪府代表で全国大会に出場、団体戦三位に入賞。また、定時制通信制生徒秋季発表大会芸能部門で、演劇部が、「壬生義士伝」を発表し、定時制通信制教育振興会長賞を獲得。同じく秋季発表大会工芸部門では、四年生山下武徳君がコーヒーハップで奨励賞を獲得。在校生の皆さんも頑張っています。

また、この四月に四年制課程の男子三九名、女子一〇名、三年制通併修課程男子九名、女子六名、合計六四名が尚和会の会員に加えました。今後ともよろしくお願いいたします。



平成十四年度定時制第五三回卒業授与式に出席して

定時制振興会会长
岡島 勇

背に暖かい、早春の陽射しを浴びながら歩く、川筋の小径にも、草々に混じって可愛らしい土筆の坊やが、あちこちに小さな頭をもち上げて、春の様子をうかがっているこの時節に於いて、平成十五年二月二十八日（金）午後六時より、本学体育館にて、大阪府立桜塚高等学校定時制課程の第五三回卒業証書授与式が

行われました。四年課程・三年課程、併せて六四名（内訳：四年課程、男女一五名名、三年課程、男女一五名名）の方々が卒業されました。

卒業生の皆様の中には、働きながら学び続けた人や、それぞれ困難な状況の中

この目出度い良き日を迎えた方々も少なくありません。この目出度い良き日を迎えることができたことは、

皆様の努力の賜物であると共に、学校当局を始めと

して、関係者の方々のご協力があつたからだということを忘れてはなりません。

皆様がご卒業されて数日後、定例学校協議会が、本学長室にて開催されました。

進路状況報告

進路指導部長 熊野 純

本校生の進路希望のほとんどは男子・女子を問わず

四年制大学進学ですが、こ

こ数年、より難易度の高い

大学への進学を目指す生徒

が増加してきました。ほん

の数年前までは、関関同立

と呼ばれる関西の難関大学

を受験する生徒の数はクラ

スの中で数名／一〇名程度

でした。それがここ一、二

年はクラスの半数近くが関

関同立大、あるいは国公立

大学を受験するという状況

になつてまいりました。そ

れにつれて、これら難関大

学への進学者数も確実に増

加し、昨年度は関関同立大

に一〇〇人以上、甲龍産近

大にも一〇〇人以上、国公

行願い申し上げます。

進路参考資料

国公立大	人数	主な私立大	人数
秋田大	1	関西大	60
筑波大	1	関学大	29
静岡大	1	同志社大	9
富山大	1	立命館大	16
金沢大	1	甲南大	44
福井県立大	1	龍谷大	21
愛知県立芸大	1	京都産大	12
京都工織大	1	近畿大	35
大阪大	3	京都外大	10
大阪外大	3	京都女子大	7
大阪教育大	3	同志社女子大	7
大阪市立大	3	佛教大	7
兵庫県立看護大	1	追手門大	16
神戸商科大	3	大阪芸大	7
姫路工大	2	大阪工大	23
和歌山大	1	関西外大	5
奈良教育大	1	梅花女子大	8
岡山大	1	甲南女子大	9
広島大	1	武庫川女子大	17
広島県立大	1		
鹿児島大	1		
琉球大	1		

卒業生の皆様の中には、何なのかということを一年の時から考えさせるような指導を行っています。な

ど幸をお祈りいたしました。お、二〇〇二年春の進路状況（主な四年制大学）は左表の通りです。



本校初の海外修学旅行

第1学年主任 高橋 俊行

十二月十一日～十五日シ

ンガポール修学旅行に五六

期生は、行つきました。

こうした難関大学を目指そ

ういう生徒が増加してき

た背景には将来に対する漠

然とした不安感が本校生の

中にも大きくなってきたと

いうことが言えると思いま

す。

尚会報

平成15年5月1日

間を守り規律ある行動で現地のガイドさん、ホテルの方など、感心してくださいました。また交流会でお世話をいたいたシンガポールの大学生の何人かが、桜塚高生を気に入つて『自宅に案内して手料理を作つてくれる』ということもありました。今までシンガポールを訪れる日本の高校生あまり良く感じていなかつた大学生の印象を変えるほどでした。また日本に帰つてからインターネットで交流を持つている生徒もいます。修学旅行委員を中心におこなうコース設定などをして、各自がコースを選ぶ、そして自分が自由な時間は自分で地下鉄やバス、タクシーに乗つて移動する、という試みも成功し、生徒の素晴らしさを感じた五日間でした。

この貴重な経験を生かし何ごとにもチャレンジする精神を持つて、残りの一年を有意義に過ごしてほしく思っています。そしていつも輝いている五六期生であつてほしく思っています。

「先生うただけずるい！」

第三学年主任 上山 望

時間に準備室に入つてきました。生徒が目ざとく火の入つたストーブを見つけてそのまま話して、いたいたシングaporeを訪れる日本の高校生はあまり良く感じていなかつた大学生の印象を変えるほどでした。また日本に帰つてからインターネットで交流を持つている生徒もいます。修学旅行委員を中心におこなうコース設定などをして、各自がコースを選ぶ、そして自分が自由な時間は自分で地下鉄やバス、タクシーに乗つて移動する、という試みも成功し、生徒の素晴らしさを感じた五日間でした。

この貴重な経験を生かし何ごとにもチャレンジする精神を持つて、残りの一年を有意義に過ごしてほしく思っています。そしていつも輝いている五六期生であつてほしく思っています。

三年前の入学式直後の新入生の保護者の方々に対する挨拶のおりに、「皆様のお子様を担当する我々の大半は皆様方と同じ世代でしょ。現に我々の約半数が家に帰れば高校生の保護者なのです。そういうことで

許可されていない日の休み時間に準備室に入つてきました。生徒が目ざとく火の入つたストーブを見つけてそのまま話して、いたいたシングaporeを訪れる日本の高校生は若くて今日の寒さくらいなんだ。ある先生が「君たちは若くして今日の寒さくらいは年寄りばかりでこたえんやから」と言うと、先ほどの生徒は「それもうですね」とあつさり引いてしまった。このやりとりを傍らで聞いていて寂しさを味わつたのは私一人であります。でもまだ若々しくて元気も我々（教師たち）は「年寄り集団」なのだ。「そんなことないですよ。先生方もまだまだ若々しくて元気なんだから、やつぱりそうなんだから、やつぱり対応を期待する自分がそこにはいた。

そのとき脳裏には齡を重ねてることに対するプライス面に重点を置いていましたが、そううまくはいきませんでした。これは私がかもされませんが、計算間違いが多い、連絡事項を伝え漏らす、いろんな物を置き忘れていつも何かを探しているなどなど自覚できることがあります。もちろんこれらすべてが「年のせい」といっていいが、その度に心優しい生徒たちのおかげでそれほど惨めな思いはせずに、今日まで来させていたいたしたこと、心から感謝しています。

その優しい生徒たちも、やはり卒業の時を迎えるましに見つけて活躍することを期待し、陰ながら応援し続けたいと思っています。

八回裏。この回からリリーフのマウンドに立つた本田修平が、大阪桐蔭の四番・西岡君に投じた渾身のストレートは、次の瞬間、矢のような速さで藤井寺球場のライトスタンドに突き刺さっていました。まったくもつて敵ながらはればれずの運営でした。昨年五月十二日、春季近畿大会大阪府予選準決勝での一場面です。しかし、秋にはロッテにドラフト一位指名されることになる西岡君の打撃もさることながら、背番号一をもらえない悔しさをぶつけるかのように、彼ららしい真っ向勝負を挑んだ本田修平を、監督として今も誇りに思っています。

また、この時スタンドで応援する部員たちや一般の生徒を率いていたのは三年生の笠井訓行でした。この大きな舞台に立てないといふ現実に対する葛藤を振り払い、懸命に、応援団長としての務めを果たしていました。

そして三四名の三年生が抜け、スタートした新チーム。まだ力は十分ではありませんが、去年のチー

野球部

顧問 和田 充司

二〇〇二年を振り返つて

した。皆をベンチと同じ気持ちにというのがその務めです。ホームランにとどめを刺される形でその試合に敗れた時、彼の悔しさはベンチ入りしてた選手以上のものだったかもしれません。

今後とも、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。

母校
クラブだより

ームを越えること、さらには、新しい自分たちの野球を創り上げること、目標に日々練習に励んでいます。

ラグビー部

顧問 渡辺 宗治郎

私たち人間の本能として身体活動、いわゆるスポーツに達成感や充足感をかなりの部分期待を抱いています。「条件さえ揃えば身体を動かしたい」と思つている人も多いことでしょう。高校生の価値観が多様化している学校生活においても、部活動の位置づけと入部の条件が大きなポイントになります。「やらされたりやる部活」をめざして本校のラグビー部の活動理念は部員の自主的運営により、楽しく安全にゲームを経験することにあります。上級生が自分たちの状況に応じて目標を持ち、活動内容を考え組み立てていきます。年間の活動としては約二〇回の練習マッチと、八月の夏期合宿で連帯感とチーム力を高めます。

という具合に現在の高校では我が桜塚のみならず、府下的に高齢化が進んでいます。私の新任当時の学校ではおそらく教師の平均年齢は三〇前後だったと思う。現在の桜塚では……

三年前の入学式直後の新入生の保護者の方々に対する挨拶のおりに、「皆様のお子様を担当する我々の大半は皆様方と同じ世代でしょ。現に我々の約半数が家に帰れば高校生の保護者なのです。そういうことです。ホームランにとどめを制したものの三回戦で金光大阪に敗れました。試合後は皆、負けたことより、このチームが終わることに涙を流していました。

そして三四名の三年生が抜け、スタートした新チーム。まだ力は十分ではありませんが、去年のチー

ームを越えること、さらには、新しい自分たちの野球を創り上げること、目標に日々練習に励んでいます。

時間に準備室に入つてきました。生徒が目ざとく火の入つたストーブを見つけてそのまま話して、いたいたシングaporeを訪れる日本の高校生は若くて今日の寒さくらいは年寄りばかりでこたえんやから」と言うと、先ほどの生徒は「それもうですね」とあつさり引いてしまった。このやりとりを傍らで聞いていて寂しさを味わつたのは私一人であります。でもまだ若々しくて元気も我々（教師たち）は「年寄り集団」なのだ。「そんなことないですよ。先生方もまだまだ若々しくて元気なんだから、やつぱり対応を期待する自分がそこにはいた。

そのとき脳裏には齡を重ねてることに対するプライス面に重点を置いていましたが、そううまくはいきませんでした。これは私がかもされませんが、計算間違いが多い、連絡事項を伝え漏らす、いろんな物を置き忘れていつも何かを探しているなどなど自覚できることがあります。もちろんこれらすべてが「年のせい」といっていいが、その度に心優しい生徒たちのおかげでそれほど惨めな思いはせずに、今日まで来させていたいたしたこと、心から感謝しています。

その優しい生徒たちも、やはり卒業の時を迎えるましに見つけて活躍することを期待し、陰ながら応援し続けたいと思っています。

八回裏。この回からリリーフのマウンドに立つた本田修平が、大阪桐蔭の四番・西岡君に投じた渾身のストレートは、次の瞬間、矢のような速さで藤井寺球場のライトスタンドに突き刺さっていました。まったくもつて敵ながらはればれずの運営でした。昨年五月十二日、春季近畿大会大阪府予選準決勝での一場面です。しかし、秋にはロッテにドラフト一位指名されることになる西岡君の打撃もさることながら、背番号一をもらえない悔しさをぶつけるかのように、彼ららしい真っ向勝負を挑んだ本田修平を、監督として今も誇りに思っています。

また、この時スタンドで応援する部員たちや一般の生徒を率いていたのは三年生の笠井訓行でした。この大きな舞台に立てないといふ現実に対する葛藤を振り払い、懸命に、応援団長としての務めを果たしていました。

そして三四名の三年生が抜け、スタートした新チーム。まだ力は十分ではありませんが、去年のチー

また兄弟校である府立池田高校との定期戦（4月）も今年で一〇回目を迎え、O Bも交えてのイベントになつています。もちろん公式試合（一月、四月、九月）にはフルラグビーの部に単独チームで出場することが第一目標になりますが、これが容易なようですが顧問、現役部員にとって最大の課題といえるでしょう。戦績は特筆できぬものの、一年を通して満足のいく内容となつていています。

週休二日制の導入が定着するか否か予測のつかない部分が多いなか、物理的にゆとりの時間が増した反面、生徒たちが自分の時間を自分で決めた目的に活用する環境作りは不可欠になります。部活動 자체が過渡期になつた今日、文武両道を成し遂げることの価値も曖昧になつてきます。いろんな事情を抱えた生徒たちに対応すべく今後も部員とともに考えながら余暇を充実させたいものです。



陸上部

マネージャー 大石 真奈美

顧問 古橋 美知子

男子バレー部

陸上部は男子二人、女子八人、マネージャー四人

で毎日放課後練習をしてい

ます。十一月、一月にあつた駅伝では長距離のメンバ

ーたちがチームを組み、一

本のタスキを最後までつなぎました。冬にはシーズンオフとなる短距離は今は筋

トレを中心とするメニュー

で体力づくりに励んでいま

す。最近ではサッカー、女

バレ、男バレとも一緒に練

習をし、土曜には他校の陸

上部との合同練習も行いま

した。

四月からは記録会が毎週土日あり、五月初めにはインターハイ地区予選、六月中旬、そして総体。地区の記録会なども合わせると年間の試合数は結構多く、その中で選手たちはそれぞれの目標に向かつて精一杯がんばっています。

部長の熊谷君が立てた今年の陸上部の目標は「G O！ インターハイ」。新入部員も入つてくる四月、この目標を目指していきたいと思います。

現在二部。一部昇格を目

標に練習をいたしておりま

す。

今年度の三年生（五五期生）は、中学校での経験が無い生徒がほとんどでした

が、キャプテン北里君がチ

ームをまとめてくれまし

て、すばらしいチームにな

りました。エースアタック

ーに成長した杉澤君・セン

ターブロックの要を務めて

くれた馬場君・攻守の軸に

なった中村君・リベロで守

りの中心になった羽根君と

川舟君・チームがピンチの

時は入江君・ムードメーカー

ーとして正月君・金納君・

吉田君、そしてマネージャーの佐藤さんと永田さん。

真面目にコツコツと積み上

げて強くなつていく、努力

することの大しさを学んで

くれたチームだったかと思

います。

次年度（五六期生）のチー

ムは大型の攻撃型のチー

ムに育ちつつあります。新

キヤブテン南君・副キヤブ

テン高島君と山田君率いる

新チームに期待したいと思

います。

先日、五二期生と五三期

生の卒業生が練習相手に來

てくれゲーム形式の練習ができました。白熱した試合は、新チームにとつてとてもプラスになりました。

（卒業すると皆、上手になりましたのはどうしてだろう。）

先輩として後輩の指導に来てくれるだらうなと思いまして。バーボールの楽しさを技術や戦術の学習とともに学んでもらえたらと願っております。

（卒業すると皆、上手になりましたのはどうしてだろう。）

自身も興奮し、感動した。

現役生も、じきに卒業しないことが実感できた。私たちはたくさんある。しかし、考へて意味のある練習をし、どこにも負けない活

動内容で、これから、彼女たちが飛躍するであろうと思つてゐる。

これから、まだ不安など

もなく、これが実力であると

いうことが実感できた。私たちはたくさんの。

大会では、「優勝」を目標に望んだ。しかし、三位に終わつた。チャンスはあります。

ただだけに、非常に悔しい思いをした。

五五期生最後の近畿大会予選の相手は一度負けていました。

五五期生最後の近畿大会を予選の相手は一度負けていました。

五五期生最後の近畿大会

五五期生最後の近畿大会

五五期生最後の近畿大会

女子バスケットボール部

顧問 高橋 俊行

女子バレー部

顧問 伊藤 将史

昨年度は、四月に行われた部別大会で、私たちは大きな自信と成果を得ることことができた。四チームのリーグ戦で行われるこの大会は、各部に残留するよりも、昇格することのほうが何倍も難しい。なぜなら、同じような実力が集まつたチームの中で一位にならなければいけないからである。そ

ういう結果は、各部に残るが、最後となつたが、彼女たちは努力、気持ちちは素晴らしい貴重な経験をした

ところは、これからのことは、これまで最後となつたが、彼女たちの努力、気持ちちは素晴らしい貴重な経験をした

ことだ。五五期生にとってはこ

れが負け、一回戦敗退であつた。五五期生にとってはこ

平成15年5月1日

尚和会報

レを目指して練習してお
り、バスケットの仲間が
徐々に増えております。

女子ハンドボール部

顧問 村尾亮

桜塚高校で女子ハンドボーラー部の顧問を務めるようになつてから、早いものでもう一年もたつてしましました。つまり四五期生から五七期生までで、その間の部員総数は約一五〇人ほどになります。

私は前任校でも一四年間ハンドボール部の顧問をしていましたが、転勤する最後の年には部員はたつた三人になりました。そんな中、桜塚高校に転勤してきて驚きました。各学年の部員がそれぞれ二〇人近くおり、三年生が引退する五月月中旬までは総勢五〇人ほどで練習するのです。その上當時は男子部も盛況でしたから、女子部員五〇人は二〇メートル四方の半コート内にひしめき合つております。危ないから「全力で走るな」「ボールを思いっきり投げるな」と注意しながら、部員数の増減も

になってから、早いものでもう一年もたつてしましました。つまり四五期生から五七期生までで、その間の部員総数は約一五〇人ほどになります。

私は前任校でも一四年間ハンドボール部の顧問をしていましたが、転勤する最後の年には部員はたつた三人になりました。そんな中、桜塚高校に転勤してきて驚きました。各学年の部員がそれぞれ二〇人近くおり、三年生が引退する五月月中旬までは総勢五〇人ほどで練習するのです。その上

當時は男子部も盛況でしたから、女子部員五〇人は二〇メートル四方の半コート内にひしめき合つております。危ないから「全力で走るな」「ボールを思いっきり投げるな」と注意しながら、部員数の増減も

あり、公式戦で一勝もできなかつた年や府下ベスト八で近畿大会まであとひとつ（実はこの壁が大変厚いのですが）まで迫つたこともあり、強弱いろいろあります。

集めている強豪私学は別にして、同じ条件の府立高校には負けたくないと思いませんが、ここ数年、大体この目標は達成できています。

大阪高体連に加盟しているハンドボールチームは数年前より激減しています。特に男子は惨憺たる有り様で、豊中・池田・桜塚・東豊中は壊滅し、千里と刀根山が風前の口ウソクです。男子の場合は野球・サッカー・アメフトなどに生徒がとられ、ハンドまで部員が回つてこないという事情があります。これら人気クラブのない女子はまだなんとか部員が確保できていますが、それでも年々チーム数は減少しています。

ただ、私たちが中央大会に進出した・ベスト八になつたと自慢すると「参加チームが減ったからだろう」とよく言われますが、人

ではありません。つまり下位チームからつぶれていき、上位の強豪私学は安泰です。これはちょうど受験生が減つて短大や女子大が定員を割り潰れていますが、ブランド校と呼ばれる人気大学の競争率は落ちることに似ています。

ハンドボールのようなマイナーリー競技では高校のクラブ活動以外で見たり・やつたりする機会はほとんどありません。それゆえチーム存続のために専門の指導者の存在が不可欠です。前述のチーム消滅の原因の多くが専門の顧問の転勤でした。北野・箕面がなんとか存続しているのは二〇年以上続けていたOBコーチがいるからです。

私が転勤した後、専門の顧問が来てくれればよいの

十六年から六〇年以上の歴史をもつ桜塚高校女子ハンドボール部もその幕を閉じることになりそうです。



平成15年度 評議員会及び理事会予定表

評議員会

- 第1回 15年 9月 6日 (土) 会費制 会場未定
- 第2回 16年 3月27日 (土) 尚和会議室

理事会

- 第1回 15年 5月10日 (土) 尚和会議室
- 第2回 9月 6日 (土) 会費制 会場未定
- 第3回 11月 1日 (土) 尚和会議室
- 第4回 16年 1月18日 (日) 新年理事会
会費制 会場未定
- 第5回 3月20日 (土) 尚和会議室

役員紹介

尚和会平成十五年度

役員	会長	副会長	会長	副会長
高一期 田中 渡	高一期 岡島 勇	高一期 安浦 晴	高二期 吉田 和久	高二期 細川 和彦
(行司担当)	(会計担当)	(財務担当)	(会計担当)	(広報担当)
高一期 大畠 光昭	高一期 吉田裕理子	高二期 久瀬 恭子	高二期 秋山日東志	高二期 吉田 友子
高二期 井上 真一				

教職員人事異動 (平成十五年度)

全日制課程

近藤 布施

土井 千賀

木谷 一

津田 勝也

上田 裕之

来住 雄一

津田 浩司

木保 勝也

園山 伸也

中山 豊

和泉 隆一

薄木 伸也

高丸 伸也

田中 実也

小原 伸也

植木 実也

小野 実也

文珠 実也

浅沼 実也

桂 伸也

退職

高一期 田中 実也

高二期 友田 実也

高二期 石田 実也

高二期 後藤 健

高二期 上田 実也

高二期 増田 実也

高二期 木谷 実也

高二期 近藤 健

WEB版非公開

WEB版非公開

WEB版非公開

WEB版非公開

WEB版非公開

WEB版非公開

尚和会会報

(7)

平成15年5月1日

新年理事会について

行事担当副会長 岡島 勇

平成十四年度

平成十五年一月十九日
(日)に、歌劇と湯のまち宝塚、ホテル若水において新年理事会が開催されました。当日五七名の方々のご出席を賜り、大変ご多忙中の折、厚くお礼申し上げます。

さて理事会・評議会においての業務執行については、まず学校当局始め、会員皆様のご協力とご指導なくして進めることができませんので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

一般、全日制の授業参観を視察させていただく機会がありました。学生の勉強状況はどうであるか、教えられた側と教わる側との関係は非常に興味深く拝見することができました。多達勝因「よい人に交わっていると、知らないうちに、よい結果に恵まれる」人間には縁と「ものがあり、これは最も大きなことで大事に育てていくことが重要であり、尚和会ではこうした皆様とも大事に育てて行きたい」ともおかいできる幸せを、今後尚和会ではこうした皆様と存じます。

	高女 1期~8期	併中 1期~2期	高 1期~55期	定 1期~53期	定通併修 1期~3期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合 計
会員数	2,061	229	25,423	4,078	22	673	39	22	32,547
物故者	325	18	567	80	0	133	0	0	1,123
住所不明者	223	31	5,292	1,944	2	165	0	0	7,657
住所判明者	1,513	180	19,564	2,054	20	375	39	22	23,767
判明率	89.2%	86.5%	79.2%	52.3%	90.9%	75.5%	100.0%	100.0%	76.5%

尚和会会員数
単位：人

平成14年 物故者名

(平成14年1月1日～12月31日まで)

WEB版非公開

WEB版非公開

WEB版非公開

(尚和会宛に報告のあります
た方のみ掲載)

WEB版非公開

WEB版非公開

尚和会 平成14年度決算報告・15年度予算

【収支決算】(自：平成14年4月1日 至：平成15年3月31日) (単位：円)

科 目	予 算	決 算	差引過不足	備 考	15年度予算
収入の部	入会金	1,666,000	1,660,000	0	415名×4,000円(全357, 定58) 1,672,000
	会報年会費	1,000,000	1,190,000	190,000 1,190名	1,200,000
	尚和会協力金	2,000,000	1,615,739	▲384,261 664名	1,800,000
	広告収入	60,000	0	▲60,000 会報広告掲載無し	60,000
	利 息 収 入	10,000	3,270	▲6,730	1,595,000
	雑 収 入	0	80,000	80,000 名簿販売	0
支出の部	計	4,730,000	4,549,009	▲180,991	6,327,000
	事務費	100,000	60,302	39,698 事務用品、名札代	100,000
	振込手数料	100,000	80,200	19,800	100,000
	通信・交通費	300,000	348,477	▲48,477 葉書、宛名シール、切手代、東京出席他	300,000
	会合費	300,000	327,546	▲27,546 理事会及び各委員会会合費	300,000
	慶弔費	100,000	85,659	14,341 学校行事お祝い、弔電他 9件	100,000
	会館維持費	30,000	0	30,000	30,000
	卒業生記念品代	50,000	49,665	335 卒業証書入り430本 @110円	50,000
	会報発行費	1,300,000	1,045,328	254,672 6,000部	2,000,000
	総会費	700,000	683,965	16,035 アトラクション、雑費	700,000
差引当期収支	東京支部援助金	150,000	150,000	0	150,000
	同期会開催助成金			0	400,000
	助成金・予備費	400,000	250,000	150,000 同期会開催支援金5件	1,700,000
	計	3,530,000	3,081,142	448,858	5,930,000
	1. 差引当期収支	1,200,000	1,467,867	267,867	397,000
	2. 前期繰越金	853,649	853,649	0	1,291,130
5. 尚和会積立金等取崩	3. (1+2) 合計	2,053,649	2,321,516	267,867	1,688,130
	4. 尚和会積立金等織入		1,030,386		
	5. 尚和会積立金等取崩		0		
	6. 次期繰越金		1,291,130		

【貸借対照表】(平成15年3月31日現在) (単位：円)

借 方		貸 方	
現 金	359,400	預 金	1,674,000
普 通 預 金	3,355,038	尚 和 会 積 立 金	12,000,000
定 期 預 金	10,095,692	尚 和 会 事 業 積 立 金	8,200,000
定 額 貯 金	9,180,000	次 期 繰 越 金	1,291,130
仮 払 金	175,000		
合 計	23,165,130	合 計	23,165,130

以上、報告いたします。

監査の結果、誤りのないことを報告します。

平成15年3月31日

平成15年3月31日

財務担当副会長(高13期) 細川 和彦

会計監査(高14期) 吉田裕理子

会計(高12期) 久瀬 恭子

会計監査(高16期) 秋山日東志

会計(高12期) 吉田 友子

平成十四年度

尚和会報

平成15年5月1日


**豊中高女一期生会
卒業六〇周年記念**

幹事一同

日 時：平成十四年十一月十五日（金）

場 所：不死王閣
十一月十五日、お疲れさまでした。秋真っ最中のもりじの山をバックに、いい顔の集合写真をお届けいたしました。

年を迎えたものです。見れば見るほど、なつかしく、一人一人がいとおしく感じられます。生きること

同期会報告

のきびしさをいろいろとくぐりぬけて、現代がある私たちです。これからは来年お会いできることを目標にして、優しさの大安売りをして、美容にいいことはすべて実践？したりして、またいい顔でお会いいたしましょう。

来年は、セトさん、ムトウさん、ヨコガワさん、タダさん、よろしくお願ひいたします。

高女四期生会

日 時：平成十四年六月一日（土）

場 所：リーガロイヤルホテル
出席者：四一一名
テル 梅の間

不順な日が続いていましたが、当日は快晴で、日頃の精進のお陰と四一名が集いました。会えば卒業後五年も経っていますのに、お互いに「ちつとも変わらない」と喜び合ってお話を花が咲きます。久しぶりに四国から出てきてくださった野村（旧姓・山岡）ミエさんが戦時の空襲で防空壕に閉じこめられたことを



母校を昭和二十七年に卒業して、ちょうど半世紀が経った桜花爛漫の四月、大阪リーガロイヤルホテルの大広間「山樂」で祝賀会を開催しました。恩師三名、新旧校長先生をご招待して、総勢「四五名が集まりました。

かつて五〇周年記念事業として写真集を発行しようと計画していた鈴鹿常雄君が逝去して五年、彼が収集していた写真を映像化したのが今回のビデオ「母校の今昔」になりました。

このビデオ映像は、当司会・進行役をも務めてくれました松田祝三君率いる（株）サンライズ・プロバーの協力によるもので、コンピューターグラフィック手法を駆使した力作です。後

開催に当たり、七月から準備を始め毎月一回の幹事を実施し、合計四回の打ち合わせを行いました。会場については早い目に予約をしていたのですが、会費、料理、当日スケジュール、案内文書、出席者名簿の作成など詳細に打ち合わせを行いました。

東京支部の会合、旅行シ

ーズンとも重なり予想に反

しての四五人（男性二四人、女性二一人）と少ない人数となりました。最初は名前

と顔が一致せず多少緊張気味でしたが、時間が経つにつれ四年前にタイムスリ

高四期卒業五〇周年 記念祝賀会

中右 吉信

最後は田中喜久三先生作詞、高畠孝爾先生作曲の「応援歌」の齊唱で締めくって、三時間の祝賀会が終宴となりました。

お問い合わせください。

高九期四五周年 記念の集い

山田 朝広

去る平成十四年十一月十七日（日）午後一時からビルトン大阪に於いて「九期会四五年記念の集い」を開催しました。

開催に当たり、七月から準備を始め毎月一回の打ち合わせを行いました。会場について早目の予約をしていたのですが、会費、料理、当日スケジュール、案内文書、出席者名簿の作成など詳細に打ち合わせを行いました。

東京支部の会合、旅行シ

ーズンとも重なり予想に反

しての四五人（男性二四人、女性二一人）と少ない人数となりました。最初は名前

と顔が一致せず多少緊張気味でしたが、時間が経つにつれ四年前にタイムスリ

（併設中三年から高三まで）
上山 桑原 津川 富権
幹事

次会に別れて行きました。ホテルのお計らいで、新装のチャペルでの集合写真にまた大喜び、三々五々二年も経っています。田中喜久三先生作詞、大北シズ先生作曲の「学生歌」を昔の風景映像の大画面とともに全員で齊唱し、特別企画、安田宏子さんのピアノ、中島昭典君のバイオリン、木村泰子さんの独唱の「歌の翼」式典のオープニングを盛り上げました。

会食の後、在校生の協力でビデオ録りした「現在の校内寸描」で、授業風景、校内活動状況を校歌とともに紹介し、次いで「四期生思い出のアルバム」として、「第一部・在校時代」の四年間

（併設中三年から高三まで）
上山 桑原 津川 富権
幹事



（併設中三年から高三まで）
上山 桑原 津川 富権
幹事

ツブしたかのように会話をはずんでいました。

四〇を過ぎると男は自分の顔に責任を持てと言いますが、白髪いっぽいの人、頭のうすくなつた人、腹だけがぱこんと出ている人、それ個性的な人生の重さを経験され貴様もあり立派になられていることを実感しました。

スケジュールの途中定番のビンゴゲームを行い豪華な景品も用意しました。またホテルのご厚意によるペア招待の食事券が当たるということで番号の発表があることにお互いに番号確認を行ない大いに盛り上りました。また自己紹介の途中ある人が「ボケ防止七ヶ条」について一条から七条までコメントされ、七条について旅行

に行くことですと強調されました。ちなみに私は旅行会社を経営していますと言われた時には大爆笑でした。

最後に全員で校歌の齊唱を行い、昔の学生時代の気分にちよびりひたることができました。参加人数は少なかつたわけですが、家庭的な雰囲気の中で近況報告、昔の思い出話に花が咲き、大変盛況な会合でありました。

継続は力という言葉がありますが、この九期会もいつまで続くかわかりませんが、できる限り続けていきたいと思っています。次回は五年後開催することになりますが、全員元気で明るい笑顔で再会することを願いながら終会することになりました。



勢一
内田先生
水田先生、
佐野先生、
西井（福
井）先生、
柳宮達也先生を含め総
名の参加

高一三期同期会報告

世話人一同

昨年十月十九日（土）卒業四〇周年と還暦祝いを兼ね、大阪東急ホテルに於いて同期会を開催いたしました。

恩師の梅田先生、佐野先生、水田先生、内田先生、西井（福井）先生、柳宮達也先生を含め総名の参加

高一九期同期会報告

海老一夫

伸間として次の機会にも顔を会わせればと思つています。東京方面でも年一回以上同期で集まつており、大阪でも三・六会（ゴルフ）を年二回開催しております。同期の皆様におかれましては、今後とも健康に十分ご留意ください。では、また。

を得ました（近松先生は体調がすぐれず欠席）。仕事、親の面倒、孫の誕生、旅行などでやむなく欠席の方も多数おられました。働いていた大部分の人が今年三月までに定年になりましたが、今後とも損得に係わりのない男女に關係の無いそ

ういう年になつてしまつた。同窓生らが持ち寄つた品を分け合うビンゴゲームも好評だつた。

お歳を召されたものの、四人の先生方も桜塚時代の霧開氣そのまま。席につかれたテーブルへみんなが次々に顔を出し、笑い声が絶えなかつた。

二回次は場所を移し、カラオケ大会。肩を組み合つて「高校三年生」を合唱すると、少年、少女に変身していた。残念ながら参加できなかつた一六〇余名からはがきも会場で閲覧された。「仕事と重なり」「親の介護で」「家業の都合で」「次の同窓会は出たい」など、桜塚への思いが託されていました。今回、出席されなかつた近松淳一、倉田順雄、内尾ひで、佐藤宏明先生方からも元気なお便りが寄せられていた。



三五周年を迎えた一九期

生の同窓会が二〇〇一年十一月二十三日、水田紀久先生、柳沢千吉先生、相沢昂先生、松宮達也先生を迎え、大阪市の大坂ヒルトンホテルで開催された。卒業生は五三人（入学時は五五〇人）だったが出席者は男性三人女性三九人の合計七〇人。

一九四八年、四九年生まれの団塊の世代で、五〇代半ばにさしかかつたが、みんなはつらつとした様子で、すでにお孫さんに恵まれた方も…。久々に口づさむ校歌で先生方を会場に迎え入れると、一気に三五年前のかんばりの時代が蘇ります。桜塚時代の

川輝英さん（三年三組）、一九九八年逝去。津島静香さん（三組）、梶訓和さん（五組）、井上克己さん（八組）の三人は二〇〇二年に亡くなられたとのこと。ご冥福を祈ります。

次回は五年後の二〇〇七年の予定。還暦目前だが、また元気に盛大な同窓会を開きたいと思う。

高二〇期卒業 三五周年記念同期会

柳井 真知子

私たち高校二〇期生は、



昨年の五月十一日（土）に梅田の阪急ホテルにて、内五年ぶりに第五回同期会を開催いたしました。

恩師、井上まさ先生、内田先生、長尾先生、牧先生、辻内先生の五名の先生方にお越しいただきました。井上まさ先生は、八〇歳を越えられているとは思えないほどお元気で、とても素敵なお話をしてくださいました。同期会とはいえ先生方にお会いでお越しいただきました。

かしく喜んでおりました。かしく喜んでおりました。いる友達もあり、皆とも懐かしく喜んでおりました。

さて、生徒のほうは七四名が出席し、それぞれに近況を語り合い、子供の話から孫の話へと話題が変わりつつ、早おじいちやん、おばあちゃんになつた人も多く、皆とてもいい顔になつてきました。それでも、時が経つにつれあの懐かしい楽しかった高校時代にもどり、肩をたたきあつたり歓声をあげたりと、気持ちはいつまでも一八歳のまま。不思議なも

次回、五年後には、還暦近くになりますが、皆元気で出席できたらいいなあと思っています。

遠方から出席くださった方々、本当にありがとうございます。またお会いするのを楽しみにしております。

高一期三年二組 クラス会報告

岡野 薫子

街を歩くと何処からともなく金木犀の甘い香りが漂つてくる十月五日（土）桜塚高校近くの「こんぴら丸」に於いて、高校一期三年二組の同期会を男性一一名・女性六名の出席のもと、開催いたしました。

今年六月に、ご逝去された旧友の武田君を偲び、皆で黙祷しご冥福を祈りました。長らくクラス会の世話役として尽力してくださつたこと、心より感謝しております。

卒業五〇周年記念 祝賀会に招かれて

旧職員 田中 恒雄

高校四期生の卒業五〇周年記念祝賀会にお招きいります。ただき有り難うございました。久しぶりにお会いした方も多數おられました。どちらが先生か判らぬくらい立派になられた皆さんを見

り返りこれから的人生を考える転機にさしかかつております。今まで培ってきた経験を土台に新しく行政書士になられた人、会社をたんて空氣と水の美しい南の島での楽しい生活を着々と準備中の人、子供も独立し、新婚生活に戻った人、ますます若々しく先生を続けておられる人、事業発展に邁進されている人、趣味を極めている人などなど、生き生きとした旧友の姿に感心し、触発された感が致しました。でもここいらでちょっとペースを下げるのもびり行こうとの結論でした。

話は尽きませんが、来年の同期会での再会を約して散会しました。

高女一期生会		高一期卒業四〇周年 記念同期会	
日時	平成十五年六月十七日(火)午前十一時	日時	平成十五年九月二日(土)午後五時開宴
会場	(JR芦屋駅すぐ前)	会場	(JR大阪駅西徒歩約五分)
幹事	福田(セト)、石田(ヨコガワ)、武藤(ムトウ)	幹事	大畠光昭
会員	六〇〇円	会員	一〇〇〇円
写真	写真は即日仕上げです	出欠	出欠は同封のハガキで、六月三十日までにご投函ください。
場所	ホテル竹園芦屋	場所	ホテルモントレ大阪

同期会予告

くて少々やんちゃだつた昔の姿が思い出されました。また幹事の方々のご尽力で、昔の校舎やハイキングなどのビデオ、「学生歌」や「応援歌」の齊唱など、懐かしさが込み上げてきました。

私は昭和二十七年五月に結婚しましたので、四期生の卒業五〇周年は私の金婚式の年にも当たります。また十二月には学校を辞めましたので、昭和二十七年は私にとって大きな転機となつた年であり、それだけに四年の皆さんに対する想い出しました。でもここいらでちょっとペースを下げるのもびり行こうとの結論でした。話は尽きませんが、来年の同期会での再会を約して散会しました。

高五期卒業五〇周年 記念同期会		高二期三〇周年 記念同期会	
日時	平成十五年五月二十日(日)十二時	日時	平成十五年九月十三日(土)午後一時
会場	五日(日)十五時(受付十一時半より)	会場	ホテルアイボリー
幹事	石田(ヨコガワ)、武藤(ムトウ)	幹事	大畠光昭
会員	六〇〇円	会員	一〇〇〇円
写真	写真は即日仕上げです	出欠	出欠は同封のハガキで、六月三十日までにご投函ください。
場所	(JR大阪駅西徒歩約五分)	場所	ホテルモントレ大阪

その後、あつという間の二時間が過ぎ、二次会にも大勢の人が参加し、阪急タシナリビル一七階のラウンジで美しい夜景を見ながら、残り時間を惜しみつつ話をしておりました。

卒業以来四二年ぶりの懐かしい顔も交え、楽しく食事しながら近況報告をしました。昨年還暦を迎えた私は、定年退職を迎えた人たちを、多く遮二無二走り続けた人生の一区切りを迎えて、初めて驚いたり感心したりしていましたが、昔の面影は残っているもので、

高一期遠暦記念同期会		高一期卒業四〇周年 記念同期会	
日時	平成十五年十月二十五日(土)十四時	日時	平成十五年十月二十五日(土)十四時
会場	ホテルアイボリー	会場	阪急宝塚線豊中駅前
森野克也	(一年遅れの卒業四〇周年記念を兼ねた同期会です。)	幹事 小畑、中岸	詳細は後日ご連絡します。

各期の幹事

財務担当副会長

細川和彦

必見!

「同期会開催支援奨励助成金制度」について各期の皆様に周知していただきため、前号の会報と同じものを再度掲載します。

一、目的

新世紀に向けて、新生尚和会を構築し、創造的な事業活動を展開するために、同期会の活性化に取り組む

尚和会会報有料制について

財務担当副会長 細川 和彦

今お読みの尚和会会報は有料制です。

●名称 会報年会費

●年会費 1,000円 (同封の払込用紙にてお振込み下さい)

払込用紙紛失の方は 口座番号00930-3-31860
加入者名「尚和会」宛お願いします。

●会報発送対象者

卒業年	卒業期	会報発送期間
平成15年	高55期 定53期	平成15年から5年間平成19年迄
平成14年	高54期 定52期	平成14年から5年間平成18年迄
平成13年	高53期 定51期	平成13年から5年間平成17年迄
平成12年	高52期 定50期	平成12年から5年間平成16年迄
平成11年	高51期 定49期	平成15年のみ
平成10年以前	高50期 定48期以前	毎会計年度末(3月31日)を年会費納入期限とし、会費納入者に対し、次年度のみ会報を発送。

必要がある。その意味で、同期会の開催を支援、奨励する目的の制度である。

付申請書にて、尚和会会員が同期会を開催実施しようとするもので、その同期会が卒業5周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会が右記の周年でなくとも助成金を交付する。

長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。

「同期会助成金交付申請書」受理後速やかに同期会開催迄に支払う。

付申請書にて、尚和会会員が同期会を開催実施しようとするもので、その同期会が卒業5周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会が右記の周年でなくとも助成金を交付する。

長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。

尚和会通信

会長 田中 渡

一、尚和会会報の無料配布

(卒業後五年毎)新設 無料配布

に当たる期の方も、会費・協力金は引き続き宜しくお願いいたします。

三、クラブ活動に報奨金制度発足 朗報!!

無料配布対象期

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付する。

に、その期に対し会報が無

期会開催予告」として二月

料で送付されますので、「同期会開催予告」として二月の一部を助成する制度で未までに会報の原稿を寄せていただけだと思います。そこでに準ずる

周年単位に当たる年の五月に、その期に対し会報が無

を残したクラブに、活動費

す。

協力金は引き続き宜しくお願いいたします。

を

目的・理由

会報有料制は、約二万人にも及ぶ無料配布の結果財政が逼迫し、やむなく採られたものであります。これを機に多くの会員の方が危機を認識され、それ以降会費・協力金が増加し毎年プラス収支に転じることがで

きました。一方、会費納入を一度忘れられるとそれ以降会報が発送されなく、尚和会の先細りの懸念が生じはじめました。これを防ぐ手段の一つとして、財政の許す範囲

で既になされていきます。

二、視聴覚教室に冷房機設置

在校生諸君の活発な活動を期待します。

学校週五日制度が発足して一年、巷では学力の低下が懸念されています。我が母校桜塚高校ではその対策として、夏期休暇中に補習授業の充実をはかるとともに

授業の効率を高めることができるよう快適な環境づくりをめざ

して、空調設備の施工を決定しました。費用約三〇〇

万円は母校PTAと共同負担です。なお、このような



尚和会の活動をホームページでみられます

桜塚高校のホームページの中で同窓会をクリックしますと尚和会の活動報告がご覧いただけます。

桜塚高校のホームページの次のアドレスです。

www.osaka-c.ed.jp/sakurazuka/z/

お願い
会報有料制は引き続き継続されますので、無料配布

協力金は引き続き宜しくお願いいたします。

各期連絡先

期 氏名 電話	期 氏名 電話	期 氏名 電話	期 氏名 電話
---------	---------	---------	---------

WEB版非公開

高女一期
時候不順に
良くなく困
り申します。

高女一期
いつも会へ
い頂き有難、
どうぞ少額で
くお願ひ申し

○老成を遂
〈老醜との
今挑まんレ
○恋猫の声、
め恋に無線
る

高女一期
寒中お見舞
す。本年も、
す。驚く寒さ
せめて気力が
ジを巻いて

旧職員
尚和会の古
念致します。

お便りから

が、何とか
て居ります。
尚和会の会
おりまます。ご
でございま
おります。

高女三期

高女一期
時候不順に
よくなく困
り申します。

高女三期
皆様の御親
しい母校、難
いです。三つ
ある日記、難
いです。

高女三期
御世話をな
ました。

がギュッと
す。会報を
お世話方の
ざいます。

高女五期
尚和会のへ
ただきありま
した。母校へ
祈つておりま
す。

高女四期
十一月十
日総会をされ
か出たい気
氛り、今のと
不明です。

かしい校舎へ
とても楽し
ています。一
がギュッと
す。会報を
お世話方の
ざいます。

高女六期
遅くなりま
くお願ひ致

高女五期
尚和会のへ
ただきありま
した。母校へ
祈つておりま
す。

高女四期
十一月十
日総会をされ
か出たい気
氛り、今のと
不明です。

かしい校舎へ
とても楽し
ています。一
がギュッと
す。会報を
お世話方の
ざいます。

WEB版非公開

(13)

お世話にな
とうござい
期)、昨H士
六、古希記
もちました。
のみで一泊、
二度目です。
で、有馬グ
翌日はバス
り、オルゴ
六甲オリエ
食、ゆつく
へ帰る人を
つてお別れ
す。

高二期
いつもお
してありが
す。よろし
す。

高二期
いつもお
してありが
す。よろし
す。

高二期
いつも会
だき有難う
月に卒業五
出席でき、
生に会えて
す。

お世話にな
とうござい
期)、高
私共(高
期)、昨H士
六、古希記
もちました。
のみで一泊、
二度目です。
で、有馬グ
翌日はバス
り、オルゴ
六甲オリエ
食、ゆつく
へ帰る人を
つてお別れ
す。

高一期
同期会も盛
り、古希」と
若々しく元
い出来まし
いました。
オ・テープ
んでおりま
す。

高二期
いつもお
してありが
す。よろし
す。

高二期
桜の頃の
四、少し趣
五〇周年同
に感動を、
況をおさめ
で盛大な記
ました。

高二期
いつも会
だき有難う
月に卒業五
出席でき、
生に会えて
す。

する日まで、
元気で!!
いました。

WEB 版非公開

高二期
いつもお
してありが
す。よろし
す。

りませんが、
恵風園、恩
です。

WEB 版非公開

豊中美術
生の日本画
かしさで一
りませんが、
高二期
母校の発
ります。

がんばって、
同期の淑工
の甲斐もな
た。同期会
ークなパホ、
笑わせ、こ
毎年、愛妻、
楽しんだ彼
をお祈りし
ます。

高一期
久しぶりに、
に嬉しいで、
ますますの御
ます。

高二期
高一期
母校の発
ります。

生の日本画
かしさで一
りませんが、
豊中美術
生の日本画
かしさで一

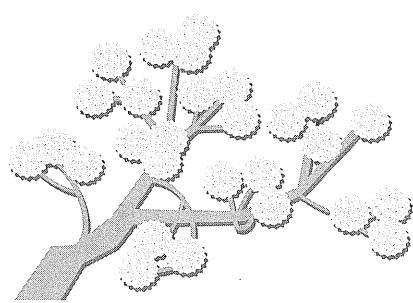
WEB 版非公開

過去の総会
どれくらい
加?)でしょ
ます。

いつもあり
ます。

WEB 版非公開

H十四・
三男一女の
た。もう中
も体重もぬ
三七期の皆
か?
高定期
青春の香
付ありがと
ワクワクす
キする記事
たくさん載
しみにして
私にもあつ
甘酸っぱい
れ、懐かし
甦つて来ま
も素敵な紙
さい。



WEB 版非公開

WEB 版非公開

● 旧職員

◆協力金をありがとうございます◆
(金額は納入合計額。千円未満の納入会員は省略させていただきました。)

平成十四年度
会報年会費・協力金

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開



昨年の総会（五月十九日）於ホテルアイボリーでのアトラクションは、笑福亭仁勇さん（本名・山澤健二・二九期生）の大道芸で、南京玉すだれとバナナのたき売りをとても楽し

く、にぎやかに、楽しませていただきました。そして真田豊実さん（三〇期生）のマジックでは、世界でお一人しかできないカード下さい。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

隔年開催の支部総会・懇親会もはや三回目となり、東京御茶の水の「東京ガーデンパレス」にて開催されました。参加同窓生は約五〇名を数えました。卒期別では、高女四期（二一名）・高三・四期（三名）・高七期（二五名）・高八（一期（五名）・高一・三期（四名）・高一七）・五期（五名）・高二七期（六名）となりました。今回も支部活動のモットー「同期会の開催により同窓会の輪を拡げよう」に

ばきをあざやかに見せていただき、私たちの後輩がこのように各界で活躍して頑張っている姿にとても感動しました。ここ数年、卒業生の方々によるアトラクションが続いているのですが、今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

今年も幸田聰子さん（四〇期生）にバイオリンの演奏をお願いしております。皆様どうぞお楽しみください。

平成十四年度総会

行事委員 柳井真知子



【第三回 尚和会東京支部総会・懇親会】
二〇〇一（平成十四）年十一月十七日（日曜日）
尚和会東京支部 支部長 井上 真一（高七）

呼応して、高女四期（前回に増しての参加者）・高七期・高二七期など同期会の併催も実現しました。今後もこのよう、少しずつでも同期会の

同時開催の輪が拡がれば、それが支部活動の活性化に直結するものでありますので、今回お一人、二人での参加の卒期の方々も、次回はお誘い合わせての少しでも多くの方々のご出席をお待ちしています。

本年は母校桜塚高校および尚和会本部より、いずれもご新任の、長瀬尚校長と尚和会田中渡会長をお迎えしました。（吉田副会長もご出席）二十一世紀に入り二年目、校生のキャンバス生活にも、国際化、情報化などの状況変化の波が打ち寄せており、校長先生から、卒業旅行も初の海外行が実現するなどのお話をありました。「これから厳しい時代、先見性を身につけることも大切だが、そのためには（人とのつながり）を身に付けてほしい」という先生の在校生へのメッセージは、そのままOBにとつても考えさせられる言葉ではないでしょうか。新任の田中会長から

は、唯一の支部である、この支部の活性化が、尚和会の発展につながるものなので、「同期会開催支援助成金制度」の活用などにより、関東地区的同窓会の輪を拡げてほしいとの激励のことばも頂きました。

懇親会では、アトラクションとして、今回も三回連続しての同窓生の出演が実現、高二期の卒業生・西畠正三さんのフルート独奏が大好評でした。支部としては今後とも同窓生の出演を続けていく方針です。色々な分野でご活躍の同窓生の出演をお寄せください。参加者の近況報告では、趣味の分野で高い評価を受けられた高女の先輩のお話や、英会話の勉強で海外へと夢を駆せる方々などチャレンジ精神旺盛な同窓生の熱気満々の集いでした。これからはますます「人とのつながり」が大切な時代となります。「同窓会」は参加することに意義があります。これからも支部の在り方は「同窓生が集い、語れる機会と場造りおよび新しい同窓会が一つでも多く生まれる基盤づくり」を目指し致します。

昭和二十八年に第一号が発刊された尚和会会報。あれから半世紀が経ち、今年で五一号目。創刊当時は新聞紙の大四ページ。その後、一〇回の題字、サイズ、紙質の変更があり、表紙や写真の一部がカラー化され現在の一六ページの広報誌になりました。

一〇〇号記念誌を目指し、表紙を新しく変えてみましたが、桜塚高校の学び舎を果立たせた同窓生の輪を拡げ、交流を密にする。その中で気の合った仲間たちがさらにガッチリと一つの輪を作り、趣味、ビジネスなど、育んでいただければと考えております。本部におきましても、世代交代がスタートしております。卒一〇期以降の方々の運営への参加を切望する次第です。終わりに、今回

TEL・FAX
支部連絡先

編集後記

多くの同窓生（二三六名）から支部へのお勧めしとご協力金を賜りました。支部を代表して厚くお礼申し上げます。

◎次回・第四回は平成十六年度開催となります。来年度会報にて日時・場所をお知らせします。